造影剤使用説明書

（患者さんの名前を記入）

〒811-3423　宗像市野坂2650
医療法人　庄正会　蜂須賀病院
脳神経外科　・　整形外科
電話　0940-36-3636　FAX　0940-36-3672

Ⅰ.検査の目的と必要性

主治医はあなたの病気を診断し治療する上で、造影検査が非常に重要であると考えています。

Ⅱ.検査方法は？

次の検査の際に「造影剤」という検査薬を投与し「造影検査」を行います。

①脊髄造影（ミエロ）　② □ MRI検査　□ 造影CT検査　③その他（　　）

※検査前の食事は［ □ 絶食　□ 軽食（半量）］になります。水、お茶等の水分はかまいません。
※事前に採血を行います。

Ⅲ.造影剤による副作用の種類や発生頻度は？

①急性副作用：造影剤は安全な薬ですが、過敏症による副作用が出現することがあります。
＜軽度＞嘔気、嘔吐、じん麻疹、かゆみ、発赤など（数百人に1人）。 →多くは心配ありません。
＜重症＞血圧低下、息苦しさ、意識消失（数万人に1人）。 →点滴、昇圧剤、抗アレルギー薬等の治療が必要となります。極めてまれですが死亡に至った例もあります（数十万人に1人）。

②遅発性副作用：まれに検査後数時間以降に症状が出ることがありますが、多くは軽度なものですので心配いりません。自宅に帰ってから発疹、かゆみ、むくみ、吐き気、のどのイガイガ感、咳、冷や汗、動悸脱力感、めまい等の症状がありましたら当院へご連絡ください。
残念ながら、こうした副作用がいつ発生するかを事前に知ることは出来ません。万一の副作用に対して万全の体制をとって検査を行っておりますので、もし異常が起こった場合は最善の対処をいたします。

Ⅳ.患者さんへのお願い

以下の方は造影剤を使用する場合には注意が必要ですので、必ず申し出てください。主治医の判断で造影剤を使用しない場合もあります。

①気管支喘息の方
②以前の造影検査で副作用のあった方
③重篤な肝障害、腎障害、脱水症状のある方
④薬剤過敏症・アレルギー（アトピー性皮膚炎、じん麻疹・湿疹、アレルギー性鼻炎、花粉症など）の既往がある方
⑤糖尿病の方、心臓疾患のある方、妊娠中又は授乳中の方

その他ご不明な点がありましたら、主治医、診療放射線技師、看護師におたずねください。